

閉館後の特別イベント『夜にふれる』開催！ 新ゾーン「どくにふれる」(3月18日誕生)も夜の限定解説

(株)海遊館が大阪府吹田市「EXPOCITY」で運営する、「生きているミュージアム『NIFREL(ニフレル)』」では、2026年3月20日(金・祝)から3月29日(日)の閉館後、静かな夜の館内で特別イベント『夜にふれる』を開催いたします。



本イベントでは、閉館後のニフレルを舞台に、夜の世界が動き出す展示空間を体感いただけます。館内の音楽をオフにし、照明を落とすことで、光がゆらめく水槽が浮かび上がる空間を演出。昼間とは異なる生きものたちの表情や仕草、気配までもより間近で感じていただけます。

今回は、3月18日(水)の「どくにふれる」誕生を記念し、キュレーターが“毒”を持つ生きものたちの見所を特別解説。「チャグロサソリ」や「スバスマンジュウガニ」などが、UV ライトに反応し発光する様子も解説します。

尚、ミニカバの子ども「ネムネム」(2023年8月17日ニフレル生まれ)が3月30日の閉館後に沖縄こどもの国へ引っ越すため、夜の姿を見られるのは本イベントが最後となります。

さらに巨大アート空間「ワンダーモーメンツ」も音楽をオフにし、球体とフロアに映し出される美しいアートと、自然由来の“春を感じる桜”の香りに包まれる、非日常のひと時をお楽しみいただけます。

また、来館者全員に非売品の「どくにふれる」オリジナルクリアファイルをプレゼントします。

ニフレルでは、本イベントを通して、昼間とは異なる生きものの魅力にふれ、特別な夜をお過ごしいただきたいと考えています。イベントの概要と詳細は別紙をご参照ください。



【本件に関するお問合せは、下記までご連絡ください。】

(株)海遊館ニフレル事業部 PR・広報担当 西前、渋谷

TEL:06-6876-2204 (平日 9:00~17:30) MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp

※本資料の提供先:大阪市政記者クラブ、及び弊社プレスリリース提供希望のメディア関係各社

<「夜にふれる」イベント概要>

開催期間:2026年3月20日(金・祝)から3月29日(日)

開催時間:ニフレル閉館後

18:00~20:00(最終入館 19:00)

※通常閉館は 18:00



参加方法:チケット販売サイト「アソビュー！」または「Webket」にて、「ニフレル 夜にふれる」専用チケットをお求めください。

※当日のニフレル入館券は「夜にふれる」の再入館にはご利用いただけません。

※ニフレル年間パスポート会員様は通常通りご入館いただけます。

料 金:大人(高校生/16歳以上)2,400円、こども(小・中学生)1,200円、幼児(3歳以上)700円

対 象:年齢を問わず、お子さまからご年配の方まで、どなたでも快適にお楽しみいただけます。

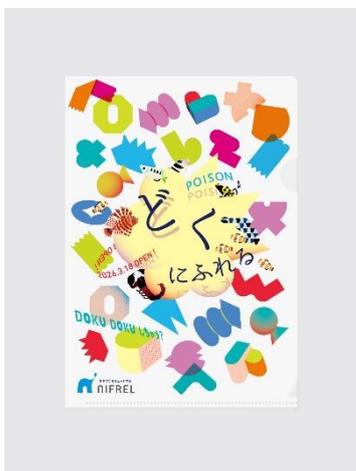


UVライトに反応し発光する様子(チャグロサソリ)



ミニカバの子ども「ネムネム」夜の様子

<全員プレゼント>



「どくにふれる」オリジナルクリアファイル(サイズ A5、非売品)

生きているミュージアム NIFREL
PRESS RELEASE

《生きているミュージアム「NIFREL」施設概要》

- 【名 称】 NIFREL(ニフレル)(館長:土井 啓行)
- 【運営会社】 株式会社海遊館(大阪市港区、社長:濱元 博之)
- 【所在地】 吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内
- 【営業時間】 平 日 10:00~18:00 (通常時)
土・日・祝 季節により変動
※いずれも最終入館は閉館の1時間前
※状況により変更する場合があります
- 【休 館 日】 年中無休
※年に2日間、設備点検のための臨時休館あり
- 【施設内容】 展示ゾーン:いろにふれる、どくにふれる(2026年3月18日誕生)、およぎにふれる、ワンダーモーメント、かくれるにふれる、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる
合計 8 ゾーン
ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」(200 m²・112 席)
ミュージアムショップ(NIFREL×NIFREL)
- 【交 通】 大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩 2 分
- 【駐 車 場】 約 4,100 台(EXPOCITY 全体用駐車場)



(以 上)